

静岡市住生活基本計画（案）に係るパブリックコメント結果概要について（意見一覧）

1. 各基本目標に対する評価と意見について

意見数：90

意見	市の考え方	回答分類
(1) 基本目標1について 意見数：24		
○ 共感できる理由・ご意見		
1 脱炭素社会は必要なことだと感じている。ただし、そのための費用は無視できるものではないため、財政的に無理がない脱炭素社会に向けたストック更新を行うべき。	省エネルギー設備等の設置に関する補助事業の実施や、市営住宅の長寿命化、脱炭素化を推進し、脱炭素社会に向けた取り組みを進めてまいります。	② 既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
2 地球レベルで考えて取り組む内容ではあるが、静岡市としても取り組みは必要だから	本市では、令和2年に2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けて取り組んで行くことを表明し、各分野で取組を進めております。脱炭素社会の実現に向け、住まいの分野の取組を推進してまいります。	② 既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
3 今回の台風災害で被害を受けつつも、ご自宅での生活を続けている方と関わることが多くあった。被害の復旧を目的とした活動や工事が終了するまでの間、一時的に避難できる場所が容易に利用できるようになると良い。	令和4年台風15号における住まいに関する支援として、市営住宅の一時使用、借上げ型応急仮設住宅の提供、被災された方が一時的に民間賃貸住宅に入居した際の家賃等への補助を行いました。本市としても課題として認識しておりますので、今後の対応に活かして参ります。	④ 個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
4 経年によって評価がなくなるとされる住宅を、良質な住宅とすることで価値を保てると思うため。	良質な住宅ストックの形成は、流通の促進にもつながります。普及に向けて、取組を推進してまいります。	② 既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
5 今日、清水区における浸水被害を受け、災害対策の重要性を実感した。	本市では、大規模な地震へのリスクが従来より危惧されており、住宅の耐震化率の向上に取り組んでまいりました。順調に成果は出ている一方、近年では風水害が激甚化・頻発化しています。今後も、気候条件に注視しながら計画を推進してまいります。	② 既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
6 災害に強い住宅ストックの形成における具体的施策はわかりやすい。		
7 災害に強い住宅や、環境に配慮された住宅への更新を促進することに取り組まれることは、市民のより良い住まいの確保に大切なことだと思います。		
8 安全な建物で暮らせるのは望ましい		
9 近年大きな災害が全国で起きていることから、災害に強い住宅ストックを多く整備しておくことは、今後本市でも起きる可能性のある大規模地震時などに向けて事前準備に災害に強い住宅へ引っ越すことを支援したり、災害発生後に被災された方の住居として利用できるためとてもよいと取り組みだと思う。		
10 年々局地的な災害が増加しているように感じています。新築される住宅よりも災害に強い住宅ストック形成が必要だと感じます。		

11	戸建て住宅の耐震性能の増加	市内の住宅の耐震化率は順調に上昇しております。今後も取り組みを推移新してまいります。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
12	親が高齢になり、住宅のバリアフリー化に注目しています。	バリアフリー化等がされた、長くずっと使える住宅の普及を促進してまいります。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
13	安全かつ良質な住宅ストックは理解できる。太陽光を室内に取り込むのは賛成だが、脱炭素社会に取り組んでいるので太陽光発電設備というのであれば違うと思う。	脱炭素社会に向けて、省エネルギー住宅の普及促進に取り組んでおります。太陽光発電設備の利用促進もそのひとつとして考えております。	⑤	その他感想等
14	ハザードマップに沿って、良質な住宅確保は望ましいが時間とコストがかかる。	災害に対応した住宅の普及について、今後の課題としてご意見を参考にさせていただきます。	⑤	その他感想等
15	特にマンションの問題を懸念しているが、全て必要なことと思えるから。	具体的な取組内容を示す静岡市マンション管理適正化推進計画とともに、取組を推進してまいります。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
16	施策の方向4「マンションの適正な維持管理」にて 市内には築40年から50年経過しているマンションも少なくない、建て替えるのも区分所有であることで合意形成が難しいことから、マンション建て替え等に対する支援に関しても明確に表現したほうが良いと感じる。	マンションの管理組合が管理計画を策定し、維持管理費を確保していること、それにより住民と連絡を取れる体制があること等が円滑な建替えにつながると考えております。ご意見は今後の取組の参考にさせていただきます。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
17	不動産業と設計・建築業では、改修工事の視点が違う。建築業・建築士が行う改修工事は、内容により予算はかかるが、デザイン含めクオリティの高いものができる。不動産業と建築業と連携し、スキルアップを図り、更に自治体との連携を含めそのポテンシャルを発揮できると思います。	長く使える住宅の普及には民間事業者の協力が欠かせないものと考えております。今後、官民連携の促進への参考とさせていただきます。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
18	脱炭素仕様とする場合の費用増が多大にならないように、誘導するレベルの設定に考慮が必要だと思います。	省エネルギー設備等の普及への取り組みに際し、参考とさせていただきます。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
19	目標や施策の方向については適切だと思われる。指標については、二酸化炭素の排出量が（P20の推移からは）達成困難であるように見えるため、達成のためにどのような施策を行うか検討が必要だと感じた。	脱炭素社会に向けた総合的な取組については静岡市地球温暖化対策実行計画で示しており、同様の成果指標を設定しております。住まいの分野では本計画において省エネルギー住宅の普及促進や、ZEHレベルの省エネ基準に適合する市営住宅の整備等に取り組んでまいります。今後も、関連部局と連携して目標達成のため取組を推進してまいります。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの

20	マンションの管理が脱炭素につながるかわからない。	基本目標1における脱炭素社会の実現に向けた取組としては、施策の方向の2と3で示しており、施策の方向4の「マンションの適正な維持・管理」では積極的に推進する取組はありません。しかしながら、建物の長寿命化という観点のほか、省エネルギー化という観点からも、脱炭素社会に向けた取組を模索してまいります。	⑤	その他感想等
○ 共感できない理由・ご意見				
21	「脱炭素社会」という流行語に安易に踊らされている。	本市では、令和2年に2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けて取り組んで行くことを表明し、各分野で取組を進めております。市民の皆様にも理解と協力を得られるようご説明を行ってまいります。	⑤	その他感想等
○ どちらとも言えない・わからない理由				
22	ZEHの住宅は増えているが、長期優良住宅は取得しない場合も多い。	本市では年間1,000件程度、長期優良住宅の申請を受け付けております。認定基準に適合させる必要や、認定後は維持保全計画に沿ったメンテナンスの必要がある一方税の特例措置を受けられる等のメリットもあります。今後も長期優良住宅の普及に取り組んでまいります。	⑤	その他感想等
23	安全・脱炭素は分かりやすいし、一般的に大切なことと思うが住宅ストックという概念がわからないため、評価ができない。	住宅ストックとは、現時点において存在するすべての住宅のことを言います。本編及び概要版に説明を追記し、わかりやすい表現に修正します。	①	計画に反映するもの
24	脱炭素と良質な住宅ストックの関連性が全く不明。	現在において住宅を更新する上で脱炭素への配慮は欠かせないものとなっております。建物の断熱性の向上や省エネルギー設備の設置がそうした配慮に当たりますが、これは結果として良質な住宅の形成につながるものと考えております。	⑤	その他感想等
(2) 基本目標2について		意見数：21		
○ 共感できる理由・ご意見				
25	住宅リフォームの促進として、高齢者・障がい者だけでなく、省エネ=断熱に対する優先度があってもよいと感じました。	取組の説明を、住宅リフォームに関する全体的な情報発信を行う主旨の内容に修正しました。具体的な促進方法についてのご提案については、今後の参考とさせていただきます。	①	計画に反映するもの
26	多様化する生活に対して、充実したリフォーム補助をしてくれる静岡市になれば、住民だけでなく本市以外からの移住者への魅力にもなると思います。	現在も行っている補助事業や周知等を継続して実施し取組を推進するとともに、多様化し、変化する生活に対して有効な支援を行えるよう検討してまいります。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの

27	既存住宅の流通促進のためには、魅力ある街づくりがより求められる。	基本目標3に位置付けた取組の結果として、基本目標2における目的である流通促進につながるよう、目標の区分を横断して、計画を推進してまいります。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
28	需要と供給のマッチは重要である。	需要と供給がマッチする住宅循環システムの構築・住まいの情報提供を推進し、今静岡市に住んでいる人も、これから移住を考えている人も住まいに満足できる環境づくりを推進します。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
29	今後ますます増加すると考えられる空き家問題の解決も一緒に行えるため。			
30	人口減が著しい本市において、住まいに関する情報提供は欠かせない。			
31	「住宅」の最大限の活用が可能になれば良いと思うから。			
32	既存住宅の流通の増加			
33	住宅循環システムは共感するが、まずは放置されている家屋の強制排除（所有者責任において）が最初の一步ではないか。	空家法に基づき、そのまま放置すれば倒壊等のおそれがある状態で、周辺的生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態の空家等については「特定空家等」に認定し、所有者等に対して助言又は指導を行います。それでも改善が見られない場合には、必要な措置を講じるように勧告、命令を経て、行政代執行を行うこととなります。なお、要した費用は所有者等に請求します。法に基づく措置に関する事項を追記しました。	①	計画に反映するもの
34	高齢化により増え続ける空き家の対策に関して、空き家バンク（中山間地含む）のPRをもっと充実させてはどうか。静岡市にも移住ポータルサイトがあるが、京都府舞鶴市の移住ポータルサイトの空き家バンクのサイトが見やすい。大まかな地図により位置関係が分かり、エリアごとにまとめられた物件紹介は非常に理解しやすい。ヴァーチャル閲覧も良い。また、DIYによる改修の紹介など見ている楽しいサイトですので参考にしてみてください。	DXの推進につながるご意見として、より活用しやすい空き家情報バンクを構築していくため、今後の施策の参考にさせていただきます。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
35	空き家らしき住宅が多い気がします。所有者への指導をお願いします。	管理不全な空き家の所有者等に対する助言や指導等を継続して行います。また、管理不全な空き家の発生を未然防止する対策を強化し、空き家問題に取り組みます。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
36	空き家は活用または流通できるものは誘導して促進すべきであるから	活用できる空き家は積極的に流通していくように、空き家の所有者等に対して不動産事業者への橋渡しを行います。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
37	多くの企業が住宅循環システムに賛同し、需要者の選択肢が増えることによって、中古住宅をリフォームして流通させる仕組みがもっと一般的になると良いと思う。	活用できる空き家は積極的に流通していくように、空き家の所有者等に対して不動産事業者への橋渡しを行います。その際にリフォームをしたうえで流通するという、付加価値がある中古住宅の紹介を積極的に行います。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの

38	既存住宅の流通を促進することで、空き家の発生抑制や住宅ストックの有効活用が図ることができ、安全なまちの維持にも貢献できると思います。目標に記載されている、「多様な需要に供給をマッチさせるシステム」が確立され、機能するようになれば、既存住宅へのニーズがさらに高まると思います。	活用できる空き家は積極的に流通していくように、空き家の所有者等に対して不動産事業者への橋渡しを行います。多様なニーズにマッチできるような情報発信を工夫します。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
39	人口減少がこのまま続くことを考えると、住宅がうまく使われ続け循環していくための仕組みは重要だと感じました。	充足している住宅ストックの活用、適正な管理について取り組みを推進してまいります。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
40	人口が減少しているのに対して住宅は増加しているという傾向の相違を埋めるには、既存の住宅を活用する手法の検討が必要であるため。			
41	車に車検があるように、住宅にも定期的な検査が必要だと思います。きちんとメンテナンスすることで、長期に持続可能になると思います。	民間住宅についても、メンテナンスを行うことで結果的に長く経済的に、そして安全に使い続けることができるという考え方は重要だと考えております。今後の取組の上でも参考とさせていただきます。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
42	住まいの手入れは必要であると思う			
○ 共感できない理由・ご意見				
43	空き家が多いのに、さらに高齢の方が亡くなっていくと増えそう。	「未然防止を図るための啓発の実施」等、居住者がいる段階からの空き家問題の啓発や対策を行います。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
44	共感の意味が分からない。	計画・質問意図が伝わるように資料作りを改善してまいります。	⑤	その他感想等
○ どちらとも言えない・わからない理由				
45	住宅の需要については結局全部備わっている住宅を安くほしいということに集約されるのではないかと。需要に多様性があるのかわからないため評価が難しい。『需要と供給がマッチする住宅循環システムの構築』なら手放しで必要性を感じられる。	性能や立地、低廉な居住費等すべてを兼ね備えた住宅が理想ですが、令和4年度に実施した市政アンケートモニター調査等で、住宅や、住む場所に求める機能の優先度は人により異なっていることがわかっています。「新たな日常」という考え方も生まれる中、住宅に求められる需要の変化の把握に努めながら、計画を推進していきたいと考えております。	③	計画に反映しないもの

(3) 基本目標3について		意見数：23	
○ 共感できる理由・ご意見			
46	地域特性をもっと考えるべき。	第4章「地域特性を活かした住まい方」において、本市の地域ごとの特性についての記載を厚くするように修正しました。	① 計画に反映するもの
47	人口減少対策として共感できるが、人口の定着には企業の誘致が必要と感じる。	住まいにも関連する事業として、「静岡市お試しテレワーク体験事業」や「静岡市移住・就業補助金」等の取組を掲載しております。具体的な人口定着や企業誘致事業は住まいの枠組みを超える部分がありますが、担当部局と連携して事業を推進してまいります。	⑤ その他感想等
48	広大な市域を有する本市の市街地と山間地の均衡ある発展を望む。	本市が有している、大都市圏にも約1時間でアクセスできる立地条件や、温暖で日照時間が長い気候を有していること、市域が広く山・川・海などの豊かな自然を有していることなどの魅力を活用して、豊かな住環境を整備していくように計画を推進してまいります。	② 既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
49	静岡市の立地条件を活かして、都心からも近く、温暖で土地も多くあることから魅力ある住宅地を整備することはとても共感できる。		
50	静岡市の持つ地域特性を高度な街づくりに活かしてほしい。		
51	各区や地域ごとの特性を生かした住まい方の提案は、市民だけではなく、静岡市に移住を検討されている方へのPRにもつながると思います。		
52	静岡市の特徴を活かした計画であるため		
53	静岡市の地域が活性化することはよいことだと思う		
54	天竜区二股商店街が若い人たちの力により少しずつ活気が出て来ています。静岡市の海辺の街はそれだけで魅力があります。ただその周辺に古い家屋が建ち並び高齢者ばかりの自治体があります。若い人達の編入は望むべくもなく魅力を失っています。近い将来津波による大災害を経験することになりますが、50歳以下の方々の感性と想像力で被災からの復興後をも見据えた魅力ある街づくりに期待します。	具体的な事例紹介等ありがとうございます。若年世帯に向けた取組を推進するよう、今後の参考とさせていただきます。	④ 個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
55	中心地だけを発展させるのではなく、中心地以外にも魅力スポットを充実させて癒しある住まいも必要だと思います。	立地適正化計画において、市街地から離れた郊外部ではゆとりある暮らしを楽しむ区域として「ゆとりある市街地形成区域」を設定しております。また、中山間地域の魅力向上や住まいに関する支援等を行っております。これらの事業に取り組むにあたり、ご意見を参考とさせていただきます。また、郊外や中山間地域において、ゆとりと潤いのある住宅の建設を促進する方策について検討することとし、計画に記載しました。	① 計画に反映するもの

56	昔に比べて緑が少なくなった気がします。緑化推進に取り組んで欲しいです。	「静岡市みどりの基本計画」において、本市の公園・緑地の整備、道路、河川、学校などの公共施設の緑化、民有地における保全及び緑化の推進、緑化意識の普及を含めた、総合的な方針を定めております。ご意見を参考として、住まいや住環境に関する取り組みについて推進してまいります。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
57	住宅に緑を増やすよう誘導したり、まちの魅力の向上に繋がる1つの要素だと思えます。			
58	静岡市の道路はごちゃごちゃ狭いから	掲載している取組の「狭あい道路拡幅整備事業」において、幅員が4m未満の道路の改善に取り組んでおります。ご意見を参考に、取組を推進してまいります。	⑤	その他感想等
59	地域の特性や魅力といった要素をアピールするためには、安心や安全という要素が土台として必要だと感じる。安全に関して、台風第15号により浸水対策への関心が高まっていると考えられるため、成果指標の設定と対策の推進が求められるのではないかとと思われる。	静岡市浸水対策推進プランに基づき、対策に取り組むことを掲載しております。インフラ整備の側面が強くなるため指標には設定しておりませんが、今後も関連部局と連携し取組を進めてまいります。	③	計画に反映しないもの
60	違法建築物に対しての是正（住環境を害しているのでは）	違反建築物については、定期的なパトロールや情報提供をもとに、建築基準法に基づき改善に向けた指導等を行っております。ご意見を参考に、市民の生命、健康及び財産の保護を図るという建築基準法の趣旨に鑑み、住環境を害する違反建築物についても、改善するよう推進してまいります。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
○ 共感できない理由・ご意見				
61	新築住宅は組み込んでいるが、既存住宅にはあまり組込めていない。	住環境の魅力の向上の観点から、既存住宅への働きかけについては、今後の参考とさせていただきます。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
62	南海トラフ地震等も地域特性に含まれると思うが記載が不十分に思われる。メリットとリスクを適切に記載すべき。	地震被害想定については、第1章の現況の分析（計画本編 p22、p30）の中で言及しております。第4章の地域特性を活かした住まい方では、前向きな提案をさせていただいております。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの

63	静岡市らしいとか意味不明な言葉でごまかさないでほしい。	温暖な地域で住みやすいことや、豊かな自然環境を有していること、もともと都市機能が集中していく集約的都市構造となっている点など、本市の魅力や長所を強化し、市民の方に静岡市に愛着を持っていただき、また、移住者へのアピールポイントとなるように、静岡市らしい住まいづくりに取り組んでいきたいと考えております。	③	計画に反映しないもの
○ どちらとも言えない・わからない理由				
64	「地域特性を活かした暮らし方」ならわかる。「住まい方」は言葉として伝わりにくいのではないかな。	住まい＝住宅と、住宅まわりの環境に特化した暮らし方についての取組や提案であることを示すため、「住まい方」という言葉を使用しています。身近な言葉ではないため、本編の最初や概要版に説明を追加しました。	①	計画に反映するもの
65	オクシズ材の活用に対する木造住宅の増加	オクシズ材の活用を今後も推進してまいります。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
66	施策、指標、取組みから「静岡市らしい」の定義が難しいと感じました。	第4章「地域特性を活かした住まい方」において、本市の地域ごとの特性についての記載を厚くするように修正しました。	①	計画に反映するもの
67	各種計画や条例・事業任せで具体的な内容ではない。	本計画は、基本的な方針を示すものであるため、具体的には各計画や事業において取り組んでいくこととしています。	⑤	その他感想等
68	「静岡らしい住宅の普及」とは、どのようなものなのか？理解不能である。	静岡市の気候風土や、集約型都市構造、また、中山間地域での暮らしの支援など、地域特性を活かした住まいづくりの推進、すまい方の提案を示しております。	⑤	その他感想等
(4) 基本目標4について		意見数：22		
○ 共感できる理由・ご意見				
69	市営住宅の供給について老朽化した市営住宅を順次、集約再編するとしており、このことについて積極的に進めていくことを支持します。しかしながら、県営住宅は積極的に建替えを進めている一方、市営住宅は老朽化が進行しているが建替えが進んでいません。この建替え（上土団地以外）について具体的な表現で表していく必要はありませんか？	本市の市営住宅も建替えの必要性が高まる一方近年の事業実績がないなか、上土団地の集約建替事業を第一歩目の計画として取り組んでおります。市営住宅の維持管理計画は関連計画の「静岡市市営住宅の配置適正化方針」で示しておりますが、今後、本計画の改定に合致するように方針の見直しを行い、市民の皆様を示していきたいと考えております。	⑤	その他感想等
70	必要性は感じる。具体的な事業は市営住宅関係しか定まっていなかったのかどうかよくわからなかった。	具体的な取組は本編に記載していますが、子育て世帯宅地提供事業や、サービス付き高齢者向け住宅の供給促進事業、地域リハビリテーション推進センターの活用等、ハード・ソフト両面で事業に取り組んでおります。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの



71	セーフティネットという制度があるので積極的に取り入れるべきです。必要とする人に合った住宅の提供がいいと思います。	「新たな住宅セーフティネット制度」を促進していくことについて、具体的な取り組みに記載しております。また、今後、民間賃貸住宅の活用を検討していきますので、ご意見を参考にさせていただきます。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
72	高齢者が障がい者等の受入先を確保する上で市営住宅等の充実が望まれる。	高齢者や障がい者、子育て世帯が安心して暮らせる環境を整え、住みやすいまちとなるように、計画を推進してまいります。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
73	子育て世帯や高齢者に合った工夫が増えてきてはいると思う。			
74	さまざまな人、世帯にとってとても大切なことだから。			
75	高齢者住宅の増加			
76	魅力ある住まいには、絶対に欠かせないポイントである。			
77	すべての人が住まいの確保に困らず、安心して住み続けられるための取組みは、市民にとって重要なことであると思います。特に、子育て世帯に対する支援については、少子化が進む現状において、充実させていく必要があると思います。			
78	子育て世帯向けの支援の継続により市外県外の入居者が増加することを期待しています。			
79	誰もが平等で暮らせるようになることは望ましい			
80	住みやすいまち静岡をアピールして、どんな方にも住んでもらいたいと思います。			
81	高齢化が進んでいく中で、高齢者向け住宅を整備し十分なサービスを受けられない地域の高齢者が、サービスが充実している地域へ容易に移動して生活できる環境になればいいなと思います。	高齢者向け住宅の整備を推進してまいります。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
82	「誰もが」は新生児から20～40代の人々が安心して暮らせる住生活である事を切に望みます。現在の若い人達とこれからの子供達が魅力を感じる街づくりをお願いします。	若年世帯への取組を強化できるよう、今後の参考とさせていただきます。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
83	施策の方向4については、令和4年台風15号の被害を教訓にした基本目標となっているのでしょうか。	実際に激甚災害を経験し応急仮設住宅の提供について課題を認識しましたので、事業は継続しながら、今後の対応に活かして参ります。	⑤	その他感想等

84	共助の精神は大切だから、税金の使い道としては考えるべきではあるが、大規模災害の時の財政はどうか不安ではある。	平常時から防災対策に努めてまいります。激甚災害に指定された場合には、復旧に関して国からの補助も受けられますので、正確かつ迅速に対応できるよう、体制を整えていきたいと考えております。	⑤	その他感想等
○ 共感できない理由・ご意見				
85	誰もが安心なんてあり得ない。	理想像として掲げ、住宅確保要配慮者への支援を推進してまいります。	⑤	その他感想等
86	目標3と4の違いが解らない。	基本目標3は住環境の視点から、住まいの周りの環境を魅力あるものにしていくことを目標に設定しています。基本目標4は市民の最低限の住まいの確保を行う住宅セーフティネット機能の視点から、市営住宅の適正な維持管理や民間企業と連携した取組についてまとめております。住宅セーフティネット機能は馴染みがない言葉のため、初めて単語が出てくる箇所で説明を追加しました。	①	計画に反映するもの
どちらとも言えない・わからない理由				
87	安心して暮らすためには、住宅だけでなく、ライフラインの強靱化や消防、病院施設の充実も必要である。	都市計画については本計画に含まれませんが、関係部局で連携を図りながら、安心して暮らせる住まいづくりを推進できるよう、今後の参考とさせていただきます。	⑤	その他感想等
88	建物のことだけでなく、そこに暮らす人々の安心について(例えば担い手育成、地域活動参加など)についても明記してほしい。	基本目標4では、住宅の確保に配慮を要する方が住まいを確保できるしくみ、つまり住宅セーフティネット機能の視点から目標を設定しており、住まいに関する情報提供や相談事業についてを掲載しています。関連部局と連携して取組を推進するにあたり、参考とさせていただきます。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
89	市営住宅に対するイメージが少々悪い気がするため。	上土団地の建替事業をはじめ、入居者が安心して暮らせる環境づくりを行うことはもちろん、地域の住環境も向上させるように整備を進め、イメージアップを図ってまいります。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
90	子育て世帯や高齢者世帯等への引き続きの支援が必要であることは理解できる。一方で、ZEHやZEBはセーフティネットではなく住宅ストックの指標であるように見える。	今後、市営住宅の建替えや改修等による適正な維持管理を行うことで、入居者の安全を確保してまいります。それにあたり、新しく整備する市営住宅については、ZEHレベルの整備を行っていくことを踏まえ、成果指標の一つに設定しております。	⑤	その他感想等

## 2. 計画案への自由意見

意見数：34

意見		市の考え方	回答分類	
(1) 全体について		意見数：7		
91	様々な視点から、課題と、現状の分析、それに対する目標と施策があり、よい計画だと思う。ただ、量が多く、理解や把握するのに難しい。(こういうものだと言ってしまうと、こういうものなのかもしれないが…)	住まい全般に係る内容のため、内容が多岐に渡る計画となっております。わかりやすくするため、本編の最初に計画の概要を示すページを追加しました。また、概要版を作成し、市民の皆さまに伝わりやすいよう修正しました。	①	計画に反映するもの
92	全体的に素人にわかりやすい計画ではないため、透明性の担保ができていないと考える。			
93	事業ごとの表記で目指す地域像がわかりにくい。	イラストを見てイメージが掴めるように表現を調整しました。	①	計画に反映するもの
94	計画を実施していくことにより、どう変化したか、住みやすくなったかなどメリットの記載があると、なんのための基本計画なのかイメージが湧きやすい。	本編で現行計画の評価を行っています。また、本編の最初に計画の目的・概要を伝えるページを作成しました。	①	計画に反映するもの
95	この計画案全体としては、具体的な表現で記載されており、わかりやすい内容になっている。	市民の方に伝わりやすく、住まいづくりの方針を示す計画となるように配慮してまいります。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
96	色々要素を盛り込まなければならないのは理解しますが、手を広げ過ぎて具体策に欠けている。何をするのかわからない。	本計画は、基本的な方針を示すものであるため、具体的には関連計画や事業において取り組んでいくこととしています。	⑤	その他感想等
97	民間のノウハウを自治体は、もっと取り入れて官民連携していくべきだと思います。それが、自治体の人手不足の解消に繋がるものと考えます。官で出来ること、民間が出来ることの方角性が同一であることが重要ではないでしょうか？自治体、民間すべてにおいて、包括で取り組むことが地域活性化につなげていける手段ではないでしょうか？すべては、地域の為です。	市営住宅の建替えに当たり民間活力を導入した整備の実施や、民間賃貸住宅を活用した住宅セーフティネット機能の強化の検討、各種出前講座の実施や自主防災組織への活動支援等の事業を実施しております。住まいの環境向上を目指す上で、民間の協力は必要不可欠なものとして、今後も連携の強化等の検討を進めてまいります。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
(2) 第1章 現況分析と課題の整理について		意見数：1		
98	本市の住生活を取り巻く多様な課題が理解できた。	今後も随時課題を整理し、見直しを行いながら計画を推進してまいります。	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの

(3) 第2章 計画の理念と基本目標について		意見数：2	
99	「豊かさ」と「便利さ」はイコールではなく、「脱炭素社会」は限られたエネルギーを大切に使う事であり、太陽光発電は環境に新たな負担をかける範囲で採用する選択肢の一つでしかありません。DXがダイナミックに進むことにより生活の利便性が向上します。ただ地震津波による大規模災害は人の想定を遥かに超えて来ます。防災は残念ながら限界があります。地震であれば減災は一部可能ですが、津波に関しては「津波てんでこ」が自分の命は自分で守るの唯一の手段です。復旧対策が最重要ではないでしょうか。高齢者はコストでしかなく配慮する必要はありません。とにかく若い人達のための街づくりがSDGsそのものですね。期待しております。	気候変動への対策のためにも、脱炭素社会に向けた住宅へ更新していくことは欠かせないものです。DXを推進し、IT技術をうまく活用していくことが求められますので、今後も住まいに関する分野において、検討していきたいと考えております。 また、災害が起きてしまっても使える住宅の普及やハザードマップの周知による意識啓発等に取り組むとともに、発災後の復旧体制づくりに取り組んでまいります。 SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」を念頭に、計画を推進してまいります。	⑤ その他感想等
100	本計画案にもDXという用語が多用されているが、その割には詳細な取組が薄い印象をもった。(そもそも静岡市全体としてもDXをどう推進・導入していくか不明瞭だと思う)	本市としても令和4年2月に静岡市デジタル化推進プランを策定し、DX化に関する取組を始めたところです。住まいのDXとは、不動産の流通に関してデジタル化による利便性向上や、モバイルワークができる環境を整えること、デジタル技術の活用による脱炭素化の推進等が考えられます。DX化については、今後も行政として実施すべき施策について、研究を重ねてまいります。 なお、現時点で取り組んでいる事業について、本編38ページに記載しております。	③ 計画に反映しないもの
(4) 第3章 施策展開について		意見数：19	
101	【基本目標の設定】 4つの視点すべてが豊かさを創り合う住生活の実現に重要なことがまとめられていると思います。すべてを同時に行うことは予算的にも物理的にもできないことなので、この中で優先順位を決めて事業を進めていくことが重要かと思いました。個人的には災害と高齢者への対策が最重要だと思います、その2つの対策を行っていきなかで、脱炭素化、多様化を考慮した整備を行っていきことで、静岡市独自の特色がでてくると静岡市らしさがより向上されていくのではと思います。	4つの視点から展開する施策は、相互に作用して基本理念への達成につながると考えております。関連部局が連携して取り組みを推進するなかで、静岡市らしいまちづくりができるよう、参考とさせていただきます。	④ 個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
102	【各基本目標】 基本目標については、どれも納得できるものであり、近年多発する自然災害等も踏まえ着実に推進して欲しい。	自然災害への対策については、特に注目すべき視点だと考えております。いただいた意見を参考に、計画を推進してまいります。	② 既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの

103	<p>【成果指標】 具体的な数値が目標設定されているのは良いと感じました。</p>	<p>今後も成果指標を随時確認しながら、計画を推進してまいります。</p>	②	<p>既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの</p>
104	<p>【基本目標1】 環境が劇的に変化している中、持続可能な社会に向けて必要な取り組みだ と思う</p>	<p>住まいにおける脱炭素社会に向けた取組を推進してまいります。</p>	②	<p>既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの</p>
105	<p>【基本目標1】 昨年の台風15号に関連した水害が今後も増えてくると思います。市街化区 域内で浸水被害のあった地域の災害対策は地形的なこともあり困難な状況 です。七夕豪雨後における静岡市の治水・浸水対策は多くの投資をし、そ の成果も発揮されていますが、抜本的な解決は困難です。居住誘導区域と いう考えとは別の視点で建築規制をしないと被害がなくなりません。長期 的な対策としては住宅の建築規制をしていかないと当該地域の浸水被害を 減らすことは難しいと考えます。参考意見としては、浸水被害の恐れがあ る地域における長期優良住宅の普及は避けるなどの一歩踏み込んだ規制を していく必要を感じます。また、規制しない場合の施策としては、浸水と 共存していく（例えば1Fをピロティにするなど）施策の検討も一例と考え ます。 インフラ面の整備だけでは当該地域の浸水対策は難しいため、政策的な取 り組みが必要ではないでしょうか。</p>	<p>今までも立地適正化区域の誘導居住区域について、災害リスクのある地区 は除外することや、がけ地近接危険住宅移転事業でがけ地の崩壊等により 市民の生命に危険を及ぼす恐れのある区域からの移転促進等行って参りま した。しかし、今回の台風15号による被害を受け、災害の発生が想定され る地域に居住することについて、更なる対策を検討していくことの必要性 を改めて認識しております。いただいた意見について、今後の参考とさせ ていただきます。</p>	④	<p>個別事業・取組に対する意見で今 後の参考とさせていただくもの</p>
106	<p>【基本目標1】 まだまだ、旧耐震の木造住宅が残っています。コロナ禍で耐震改修への関 心が薄れつつありましたが、耐震改修へのニーズはたくさんあります。補 助金の充実と継続は大きな課題だと思います。</p>	<p>今後も耐震化への取り組みを継続してまいります。</p>	②	<p>既に計画案に盛り込み済みのもの、 計画案を評価していただいたもの</p>
107	<p>【基本目標1】 地元の工務店や設計事務所の手で、地元産の木材を活用して新築やリ フォームの需要に応じられる組織（企業）が生まれ、育っていく仕組みが あると良いと思います。何か良いアイデアが提案できるように自分も考 えたいと思います。</p>	<p>地元木材の住宅や商業施設、公共施設への活用という面では、オクシズ材 活用協議会様と連携させていただいておりますが、地元工務店や設計事務 所とのより密接な連携について、今後の参考とさせていただきます。</p>	④	<p>個別事業・取組に対する意見で今 後の参考とさせていただくもの</p>

108	<p>成果指標として挙げられている項目については、現況が分かるよう資料が用意されていることが必要だと思われるが、計画（案）では資料が足りていないように見える。また、記載の誤りではないかと思われる箇所もある。例としては以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標4の住宅のバリアフリー化率は、指標ではR4の現況が45%となっているが、P13ではH30の数値と記載されている。</li> <li>・長期優良住宅のストック数は、資料では累計だが、P8の現況は年度ごとの数値になっており、視覚的に分かりにくい。</li> <li>・リフォームの実施率は、現況が年度ごとの数値のため、指標としての評価方法が分かりにくい（R13が40%だったら他はどうでも良い?）。</li> <li>・成果指標9の満足度は、P18の「住宅に対する満足度」の数値になっているが、上に「総合的な満足度」があり表記が紛らわしい。</li> <li>・成果指標11の狭い道路の拡幅整備事業は、計画中には資料がない。</li> </ul>	<p>成果指標については、住宅・土地統計調査等の既存の調査結果を使用しているものがあり、それに即した指標年度や語句の設定をしておりますので、注記するように致しました。</p> <p>長期優良住宅のストック数については、累計戸数を記載するように致しました。</p> <p>リフォームの実施率については、計画の中間見直し時期にも評価を行い進捗管理を行っていきます。</p> <p>狭い道路音拡幅整備事業については、基本目標3の施策の方向2「災害に強い住環境の整備」の取組として掲載しております。</p>	①	計画に反映するもの
109	<p>【基本目標3】 オクシズ材の活用により、林業の再興が進み山が荒れない環境づくりができれば良い</p>	<p>関係部局と連携し、計画を推進してまいります。</p>	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
110	<p>【基本目標3】 静岡市らしさとは？具体的に何を目指しているのかわからない。</p>	<p>本編の第3章及び第4章、また概要版において静岡市の特色を示す説明を追加しました。</p>	①	計画に反映するもの
111	<p>【基本目標3】 巴川周辺の水害が、数年に一度起こるので、掘り起こしたり何かしてほしい。</p>	<p>具体的な対策は「静岡市浸水対策推進プラン」等で取り組んでおります。関連部局と協力して対策に取り組んでまいります。</p>	⑤	その他感想等
112	<p>【基本目標3】 「住まい方」という言葉は、「くらし方」という言葉ほどのイメージをまだ持っていないように思われます。「住まい方」という言葉の定義が必要になるのではないのでしょうか。（資料を拝見する限り、「住まい方」は「くらし方」と同義のように思われるので。）</p>	<p>住まい＝住宅と、住宅まわりの環境に特化した暮らし方についての取組や提案であることを示すため、「住まい方」という言葉を使用しています。身近な言葉ではないため、本編の最初や概要版に説明を追加しました。</p>	①	計画に反映するもの

113	<p>【基本目標 3】 静岡市らしい地域特性を活かした安全で魅力ある住まいづくりという目標は、なんとなく理解することができましたが、提示されている成果指標で測ることができるのか、疑問が残りました。</p>	<p>本市は集約連携型都市を目指していることから成果指標⑫「立地適正化計画の居住誘導区域内人口密度」を設定しております。また、本市の資源を有効活用した住宅の普及の視点から成果指標⑬「静岡市産材の活用住宅数」を設定しております。また、これらの総合的な観点として、本市に住む人々が満足する環境になっているかどうかについて成果指標⑩「住宅及び居住環境に対する総合的な満足度」を設定しております。</p>	⑤	その他感想等
114	<p>【基本目標 3】 ・立地適正化計画では災害リスクを有するエリアを居住誘導区域から除外している。横断的な取り組みの「防災・減災」にも該当すると思う。・住宅の供給過多の状況のなかで、災害リスクのある地域での新規の宅地開発の抑制していくような、都市計画やまちづくりの視点から住生活を捉えていく必要があると思う。</p>	<p>ご指摘について、説明を追加しました。 今回の台風15号による被害を受け、災害の発生が想定される地域に居住することについて、更なる対策を検討していくことの必要性を改めて認識しております。いただいた意見について、今後の参考とさせていただきます。</p>	①	計画に反映するもの
115	<p>【基本目標 3】（市街地における人口の定着と中山間地の活用） 人口の定着を目的とすると18～22歳の流出が一番の課題かと思えます。その内容は住生活ではなく、修学的な内容が課題なのだと思う。おそらく市内の住生活に問題があって市外に移る人はそもそも少ないかと思えます。難しいかもしれませんが、教育的な要素も加えることができれば、人口定着により繋がるかと思えます</p>	<p>豊かな住生活の実現を目標とする中で、教育の視点をどう取り入れていくべきか、今後の参考とさせていただきます。</p>	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
116	<p>【基本目標 4】 今後増加していく高齢者に対して、増々必要になってくるサービス付き高齢者住宅の確保を求める。</p>	<p>高齢者向け住宅の整備について推進してまいります。</p>	②	既に計画案に盛り込み済みのもの、計画案を評価していただいたもの
117	<p>【基本目標 4】（市営住宅の子育て支援入居） 市営住宅に入居＝低所得のイメージがあり、子供が学校でかけ口を言われる場合も聞いたことがあります。子育て中の親には入居したくてもためらう方々もいると思います。負のイメージを少しでもなくせば良いと思います。</p>	<p>市営住宅を適正に維持管理してまいります。また、住宅や土地を活用した、地域を活性化する取組を進め、イメージを払拭したいと考えております。</p>	⑤	その他感想等
118	<p>【基本目標 4】（サービス付高齢者向け住宅） サービス付き高齢者向け住宅は、高収入で金銭的余裕のある方々しか入居できないです。誰でも入居できるようになれば安心です。</p>	<p>高齢者向けに整備した市営住宅（シルバーハウジング）等もあります。また、今後大規模な市営住宅を建替える時には、高齢者向けや子育て世帯向けの生活支援施設を併設していきます。高齢者の方が安心して住まいを確保できるよう、計画を推進してまいります。</p>	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの

119	<p><b>【基本目標4】</b>（子育て世帯の居住の安定の確保）</p> <p>子育て世帯の居住の安定の確保はとても大切だと思います。困窮している子育て世帯は特に支援するべきだと思います。</p>	市営住宅において子育て世帯向け住戸の整備・入居募集を継続して行ってまいります。また、民間賃貸住宅を活用した住宅の提供について、検討を行ってまいります。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
(5) 第4章 地域特性を活かした住まい方について		意見数：1		
120	<p>移住者やロールモデルの方がいるようであれば、その方の話や「この暮らしすごくいいよ」という実例があると、提案のイメージがわかりやすいと感じました。</p>	静岡市の移住・定住情報サイト「いいねえ。静岡生活」で移住者へのインタビューを掲載しております。住まいに係る分野での事例照会としてはありませんので、今後の参考とさせていただきます。	③	計画に反映しないもの
(6) その他		意見数：4		
121	<p><b>【アンケート調査年齢区分】</b></p> <p>70歳以上ひと括りはおかしい。今の70歳と80歳は大分違う。</p>	今後、パブリックコメントやアンケートを実施する際に参考とさせていただきます。。	⑤	その他感想等
122	<p><b>【概要版】</b></p> <p>静岡市の現状の分析から、課題の整理、目標の設定、施策の展開という流れとなっている中で、概要版の施策展開の一覧においても、現状の課題が施策を進めることで、どのように改善されるのかが表現されると、計画を推進する効果が市民に分かりやすいのではないかと思います。</p>	計画と同様の流れで概要を説明するように概要版を作成しました。市民に伝わりやすい計画となるように努めてまいります。	①	計画に反映するもの
123	<p>地震に強い建物は勿論ですが、まずは雨風が防げて一時的に暮らせるような住まいを相応の戸数確保しておく（先の豪雨災害や大地震が起きたときの仮住まいや今般のウクライナ情勢による避難民受け入れ等を想定）ことも必要かと思います。</p>	市営住宅の空き部屋の利用を行っております。ご意見を参考に、施策を推進して参ります。	④	個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただくもの
124	<p>これらを満たすためのリフォームは、補助制度があるのか。</p>	ZEHへの改修や、静岡市空き家情報バンクを活用して購入した住宅の改修に対する補助等を実施しており、市ホームページや静岡県が編纂する「静岡県住まいづくり支援ガイド」等で情報提供を行っております。	⑤	その他感想等